

重点目標4 人の繋がりを広げるために

個別目標1 国際交流の推進

基本方針

「国際性豊かな人づくり」のため、国際理解を深める教育の推進や市民の国際交流活動への参加の促進等により、市民の国際感覚の醸成に努めます。

また、市民中心の国際交流の活性化を図るなど、市民と外国人が交流しやすい環境づくりに努めます。

10年後のまちの姿

- 市民の国際交流に対する理解が深まり、主体的な国際交流活動が展開されています。
- 国際性豊かな広い視野を持った人材が育成され、国際的な活躍をしています。
- 外国人が暮らしやすく訪れやすいまちづくりが進んでいます。

現状と課題

近年、社会経済や文化のグローバル化、ボーダーレス化の進展とともに、市民の国際感覚の醸成や異文化交流など、国際理解や国際交流の推進に向けた取組みが必要となっています。

しかしながら、国際間における相互理解の伸張には、長い年月も必要であることから、じっくりと時間をかけて市民レベルの草の根交流などを推進し、異文化の理解や人的交流を進め、国際感覚豊かな人材を育成していくことが求められています。

こうした中、本市では、教育課程における英語指導助手の招致や中学生等の海外派遣事業、さらには、小学生の絵画交流事業などの展開により、

国際化社会に対応できる人材の育成に努めてきました。

また、市民団体 19 団体により構成される「光市国際交流連絡協議会」により実施されている「国際交流のつどい」や「作文コンクール」への支援等により、国際理解と国際交流の推進に努めています。

今後は、さらに市民レベルでの国際交流活動を充実するなど、国際感覚に優れた人づくりを進めるとともに、市内在住の外国人との相互交流や、外国人が暮らしやすく、訪れやすい環境の整備が求められています。

まちづくりの指標

まちづくりの指標	近況値 (平成17年)	前期目標 (平成23年)	参考値 (平成28年)
①「国際交流の推進」に関する満足度	5.5%	10.0%	20.0%
②国際交流事業への参加者数(年度)	518人	600人	700人
③国際協力や貢献をしている人の割合	—	増加	増加

※指標①③ 市民アンケート調査(③は今後実施)

施策展開の方向

国際交流の推進

- ◇国際性豊かな人づくり
- ◇国際交流活動の活性化

(1) 国際性豊かな人づくり

英語指導助手による語学教育や海外派遣事業など、学校における国際理解に関する学習を進めるとともに、民間との連携のもと、語学教育をはじめ、国際理解に関する学習機会を創出します。

また、「国際交流のつどい」などを通じて市民に対する国際感覚の醸成に努めるとともに、外国人と市民との交流の場づくりを推進します。

(2) 国際交流活動の活性化

「光市国際交流連絡協議会」による市民レベルでの国際交流活動を促進するとともに、国際交流ボランティアバンク制度の周知及び充実を図り、意欲のある人材の受け皿づくりに努め、市民の交流・活動の場の創出と国際交流推進のための体制づくりに取り組みます。

また、ホームページの外国語表記など、外国人のための生活情報等の提供と海外に向けた情報発信を進めます。

主要な施策・事業例

	前期					後期	担当
	19	20	21	22	23	24-28	
中学・高校生の海外派遣事業の推進							教育総務課
学校教育等における国際理解教育の推進							学校教育課 企画情報課
AET等の積極的活用による、学校教育における外国語教育の実施							教育総務課 学校教育課
国際交流ボランティアバンクの充実							企画情報課
市民主体の交流活動の促進							企画情報課
ホームページの外国語表記	準備		実施				企画情報課



重点目標4 人の繋がりを広げるために

個別目標2 都市間交流の推進

基本方針

千葉県横芝光町との友好交流をさらに促進することにより、「光」という名前の積極的な情報発信による本市のPRと、住民相互の交流を促進します。

また、新たなテーマによる周辺市町との連携によるまちづくりの全国展開を促進するなど、他の都市との連携と協力によるまちづくりを推進します。

10年後のまちの姿

- 友好交流都市「千葉県横芝光町」との交流が活発になっています。
- 他都市との連携により、光市の取組みが全国レベルで展開されています。

現状と課題

人・モノ・文化・歴史など、共通のテーマを目的としてまちづくりを行う交流事業については、国内でも全国各地で、姉妹都市や友好都市提携などにより、活動が展開されています。

本市では、平成10年、旧光市の時代から、「ひかり」の名前のより効果的な発信と互いのまちの活性化や相互交流を推進するため、同じ「光」の文字を冠する千葉県横芝光町(旧「光町」:平成18年3月27日 旧「横芝町」と合併)と「友好交流の誓い」を交わし、横芝光町産“ひかりネギ”の苗の市内農家への配布や互いのまちの特産品等の紹介、小学生同士による絵画交流など、様々な交流事業

を進めてきました。

こうした中、平成18年11月26日には、改めて、友好交流の調印を行ったことから、今後は、千葉県横芝光町との友好交流をさらに促進し、これまで以上に行政や市民相互の交流と連携を深めていく必要があります。

また、自然環境の保全など、全国的な取組みが不可欠である課題や石城山神籠石などの他の都市にも同様の史跡などが散在している資源の活用については、光市単独で取り組むのではなく、他の都市との連携により取り組んでいくことが必要です。

まちづくりの指標

まちづくりの指標	近況値 (平成17年)	前期目標 (平成23年)	参考値 (平成28年)
①横芝光町との友好交流の認知度	—	増加	増加

※指標① 市民アンケート調査(今後実施)

施策展開の方向

都市間交流の推進

- ◇友好交流都市との交流促進
- ◇資源やまちづくりの理念を共有する都市との連携の強化

(1) 友好交流都市との交流促進

千葉県横芝光町との友好交流をさらに促進するため、「光」という名前の積極的な情報発信に努めるとともに、歴史・文化・産業など、様々な分野での交流・連携を促進し、さらには市民や地域レベルでの交流が図られるよう検討します。

推進するため、国指定史跡「石城山神籠石」を活用した、全国の神籠石を有する自治体との連携による「神籠石サミット」の開催など、共通のテーマによる交流活動の活性化や連携を強化していきます。

(2) 資源やまちづくりの理念を共有する都市との連携の強化

地域における共通の資源やまちづくりのテーマを共有する都市との連携による新たなまちづくりを

また、本市の虹ヶ浜・室積海岸が指定されている「森林浴の森日本100選」や「日本の渚・百選」に加えて、「日本の滝100選」の3つの自然を保護・保全するための協議会を再編し、ネットワーク化を図ることにより、自然敬愛に関する全国的な取組みを推進します。

主要な施策・事業例

	前期					後期	担 当
	19	20	21	22	23	24-28	
千葉県横芝光町との交流促進							企画情報課
地域資源などテーマによる交流・連携策の調査・研究							企画情報課 関係各課
ホームページによる情報発信							企画情報課
「神籠石サミット」の開催							文化振興課
「森・渚・滝100選」選奨団体の組織化と連携の強化							環境政策課

